

# 「安心できる介護保険制度を求める署名2022」へのご協力をお願い

公益社団法人 認知症の人と家族の会  
代表理事 鈴木森夫

「介護の社会化」をめざした介護保険制度がスタートして22年になりますが、私たちの願いに反して、必要なサービスを必要な時に利用できない現状があります。今、政府は、2024年に向けて、さらに利用できない人を増やしかねない見直しの検討を始めています。それは、利用料原則2割負担化、要介護1と2のサービス削減、ケアプラン作成への自己負担導入、介護老人保健施設などの多床室料負担など、負担増と給付削減の提案ばかりで、決して認めることはできません。誰もがお金の心配をせず、必要な時に必要なサービスを安心して利用できる介護保険制度を求める署名にご協力ください。

2022年9月

- 【署名期間】** 9月から開始します。 一次集約：2022年10月31日(月) / 二次集約 2022年11月30日(水)
- 【提出方法】** この署名用紙を封筒にして、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。  
すべての署名欄を埋めていただかなくても有効ですので、そのままお送りください。  
署名用紙が足りない場合は、この用紙をコピーしていただくか、当会ホームページ（www.alzheimer.or.jp）からダウンロードをお願いします。もしくは、当会本部（下記）または支部にお申し出ください。
- 【オンライン署名について】** インターネット(change.org)での署名も受け付けています。（下記QRコード・URL参照）

のりしろ②

山折り

## change.org

で「オンライン署名」も実施しています。



<https://chng.it/N7p6jGJC>

(実施団体)  
公益社団法人認知症の人と家族の会

山折り

料金受取人払郵便



差出有効期間  
令和5年3月  
31日まで

切手不要

〒602-8790  
京都市上京区晴明町811-3 岡部ビル2F

公益社団法人認知症の人と家族の会 宛



# 安心できる介護保険制度を求める署名2022

～介護のある暮らしを守る制度にするために～

厚生労働大臣 加藤 勝信 様

コロナ禍は、介護のある暮らしを直撃しています。

とりわけ、認知症のある人にとって、生活のリズムを整えるためにも、安定した介護サービスの利用が欠かせません。感染の拡大は、本人だけでなく、介護家族への負担も増大させています。

また経済的にも、物価高が続く中、生活費に加え、介護保険の利用料だけでなく保険外の介護費用や医療費も重なり、さらに後期高齢者の医療費負担増も控え、不安が増大するばかりです。

こうした厳しい介護環境に追い打ちをかける制度改正の動きが進んでいます。現在行われている次期介護保険法改正の審議では、前期に反対意見や慎重な意見があり、「引き続き検討を行うことが適当である」とされた項目が並んでいます。いずれも、利用者の負担増とサービスの利用制限につながるもので、到底容認できません。

私たちは、この制度がこれ以上後退すれば、「制度」はあっても「介護サービス」が使えないものになってしまうのではないかと危惧しています。介護保険制度が必要なサービスを提供し、介護のある暮らしを守る制度として、誰もが安心して利用できるよう、以下の項目を強く要望します。

<要望項目>

- 1 介護保険の自己負担を原則2割負担にしないこと
- 2 要介護1・2の訪問介護・通所介護を地域支援事業に移行しないこと
- 3 ケアマネジメントの利用者負担導入（ケアプラン作成の有料化）をしないこと
- 4 介護老人保健施設・介護療養型医療施設・介護医療院の多床室（相部屋）室料負担を新設しないこと

氏名	住所

記入された氏名・住所は、要望署名として提出する目的以外に使用することはありません。

公益社団法人 認知症の人と家族の会

〒602-8222 京都市上京区清明町811-3岡部ビル2階 TEL：050-5358-6580 FAX：075-205-5104

一次集約:2022年10月31日(月) / 二次集約 2022年11月30日(水)

2022年9月